

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部 令和 7 年度第 3 回 地域運営推進会議

開催日時：令和 7 年 9 月 24 日 15 時～15 時 30 分 （きいちご倶楽部）

出席者 民生児童委員、地域代表委員、出雲市高齢者福祉課、出雲市高齢者あんしん支援センター
理事長、管理者 6 名

配布資料

- ①会議資料（本資料）
- ②小規模多機能型居宅介護サービス提供状況報告書
- ③きいちご便り no. 46

本資料に沿って施設長が報告説明した後、それぞれの項目について各委員から質疑応答、意見交換が行われた。

1. ご利用の登録状況

9 月 24 日現在、17 人の方に利用登録いただいています（登録定員：25 人）

要介護度と男女別の人数は次のとおりです。

	男性	女性	計
申請中	0	1	1
要支援 1	0	1	1
要支援 2	0	0	0
要介護 1	4	6	10
要介護 2	1	1	2
要介護 3	0	1	1
要介護 4	0	1	1
要介護 5	0	1	1
計	5	12	17

要介護認定の方の平均要介護度：1.73

年齢と男女別の人数は次のとおりです。

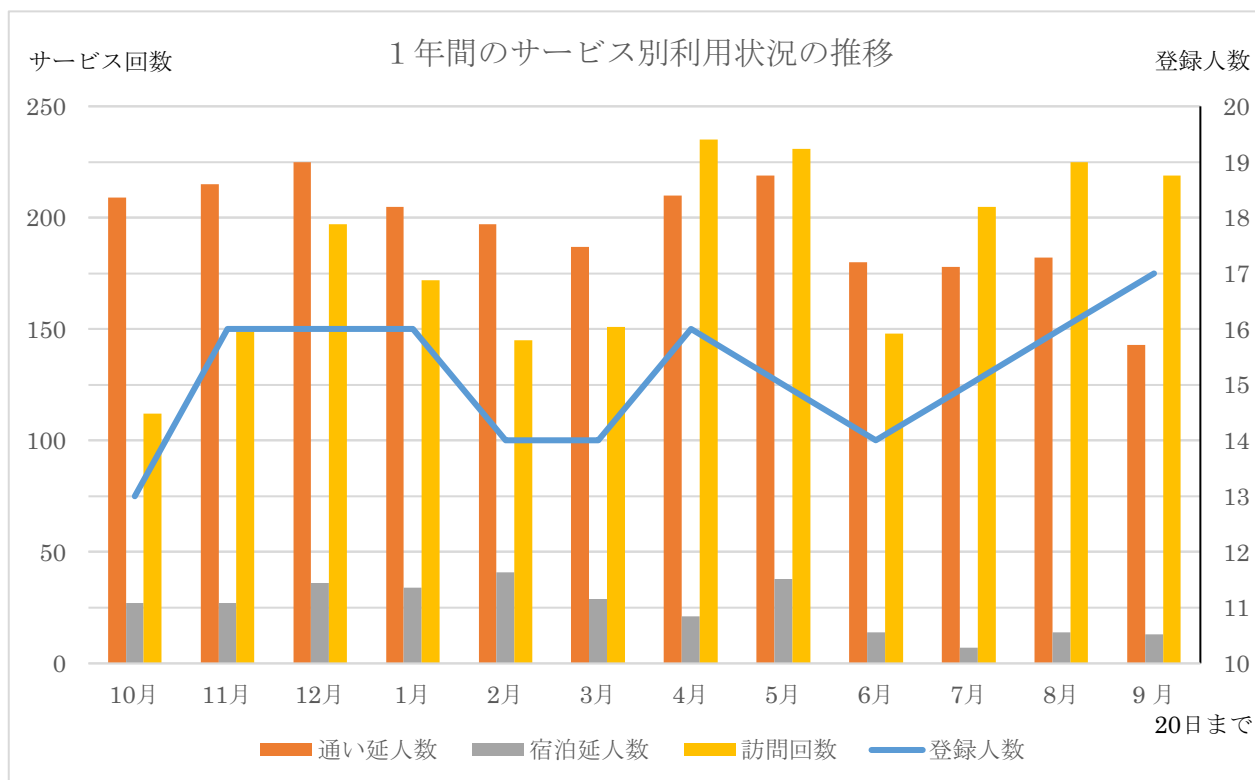
年齢	男性	女性	計
60 歳代	1	1	2
70 歳代	0	0	0
80 歳代	4	4	8
90 歳代	0	7	7
計	5	12	17

平均年齢：85.9 歳

2. サービス提供状況の推移

最近3カ月の実績数（延べ数）

	登録者数	通い	訪問	泊り
7月	15	178	205	7
8月	16	182	225	14
9月(20日まで)	17	143	219	13



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況報告書」もご覧ください

気温の高い時期が長く続いたことから、(日中)独居、またはそれに準じたご利用者宅に訪問してエアコンの設定温度の確認、水分摂取の促しなどのための訪問を多く実施しました。

委員：日に何回も訪問をするなどきめ細かく支援をしていると思う。

きいちご：夕方近くの訪問でエアコンの冷房を設定しても朝には暖房になっているようなこともよくありました。まだくばらくは暑さには注意しながら支援してゆきたいと考えています。

委員：ご夫婦での利用があるとのことだが、初めてのケースか。

きいちご：きいちごとしては初めてになります。急にご状態が変化していく中で、支援においてはご近所の方にも協力いただいています。

3. 行事・レクリエーション・活動など

8月には夏祭りを実施しました。

きいちご便りには載せていませんが、9月の塩冶地区敬老会にはきいちごから2人の方が参加されました。またきいちご倶楽部での敬老の催しとして、敬老の特別の昼食やおやつを召し上がっていただき、手作りの記念品の贈呈を行いました。

委員：私も塩冶地区高齢者福祉大会に関わったが、楽しめたのだろうか。ご利用者皆さんに声をかけられたのか。

きいちご：開催当日にご利用になる方で体調のことも考慮して声をかけさせていただき、希望のあった方に参加いただきました。

4. 研修

内部研修

8月職員会 個人情報・プライバシー保護

9月職員会 急変時の対応：気道の窒息時の対応

5. インシデントとヒヤリハット（8月、9月）

＜インシデント＞

利用者宅で繋がれていた飼い犬の近くに手を出したところ、犬に前腕部分を噛まれる事故があった。皮膚科を受診し、抗生剤の処方を受けた。その後、異常はない。

飼い主には犬をつないでおいてもらうことを依頼し、職員は訪問時に安易に手を出すなどしないことを申し合わせた。

＜ヒヤリハット＞

転倒につながる可能性 8

（利用者の自宅での転倒の判明、送迎／利用中での利用者のふらつき）

薬に関連するもの 5

（配薬の時間の遅れ、薬が自宅でのめていなかったことが判明、薬の日付の記入誤り）

利用者名の取り違い 5

（カレンダー、連絡帳、靴、歯ブラシ置き場所）

入浴中及び散髪中かさぶたが剥がれて血が滲む 2

引き戸に手が挟まる 1

お粥の上に羽虫がいた 1

利用者の自宅で犬が放し飼いになっていた 1

施設、器具の電気消し忘れなど 3

委員：薬に関するヒヤリハットでは、服薬時間の遅れについて次の食事の時間を跨ぐようなケースもあったのか。

きいちご：朝のお薬がのめていないことに通いのお迎え時にのめていないことがわかったことがあった。

看護師と相談して服用していただいた。薬が服用しにくい場合には、薬ケースや表示などをどのようにすればよいか、工夫している。

委員：その工夫は例えばどのようなものか。

きいちご：もともと1週間のケースに配薬されていたものを、1日ごとに配薬しその際に例えば、夕食後、眠前というようにケースを分けてテープで表示するなどしてみたり、それでも難しい場合は、ヒートから小皿に出して、のんでいただくようにしていただくなどの取り組みをしたケースがある。その場合、看護師や主治医と相談を行っている。

委員：ヒヤリハットは原因を分析し、情報を共有しながら対策を都度立てて行かなければならない。

きいちご：ヒヤリハットのフォーマットに発生状況、原因分析、対策を記入し、職員会でも共有し、対策の再評価と対策の再検討を行なうようにしている。

7. その他

・9月17日～22日までの4日間、トリニティ福祉専門学校で介護を学ぶ学生2名の実習が行われた。

理事長：保育園での夏祭りにはご利用者にも来ていただいて、子供たちの太鼓演奏を見ていただき喜んでいただきました。秋には芋掘りや秋刀魚焼き、音楽療法、神楽などの行事が続きますので、高齢者の皆さんにも参加していただき交流を深めてゆきたいと思っています。

以 上